

令和元年度 第1回鶴岡市環境審議会会議録 会議録

- 日 時 令和元年7月17日(水) 14:00～
- 会 場 第三学区コミュニティセンター 1階ホール
- 議 事
 - (1) 平成30年度事業概要について
 - (2) 鶴岡市の大気等環境保全状況について
 - (3) 令和元年度主要事業について
 - (4) 次期環境基本計画について
- 出席委員
 - 俵谷圭太郎、平山明由、佐藤司、小谷卓、後藤重勝、笠井史宏、前田学、菅原眞一、平親義、山本益生、本間文夫、宮崎重美、水野重紀
- 欠席委員
 - 古山隆、伊藤淳、阿部勝樹
- 市側出席職員
 - 市民部長 渡会悟、市民部環境課課長 伊藤慶也、同課長補佐 藤澤実、同専門員 井上崇
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 なし
- 会議録

<p>【1 開会】</p> <p style="padding-left: 20px;">伊藤課長</p>	<p>「令和元年度第1回鶴岡市環境審議会」を開催します。</p>
<p>【2 あいさつ】</p> <p style="padding-left: 20px;">市民部長</p>	<p>委員任期が昨年3月をもって満了したことから、改めてご委嘱しました。来年度までの2年間の任期となります。</p> <p>先月18日に発生いたした山形県沖を震源とする地震について報告します。初めに、被災されました皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>震源に近い温海地域から沿岸地域にかけては特に家屋の被害が多く発生し、地元事業者あるいは全国からのボランティアからご協力をいただきながら、応急措置をしています。</p> <p>市としましても、被災者の方々に各部署でさまざまな支援を実施あるいは実施予定であります。環境・廃棄物行政としては、今年1月に策定した鶴岡市災害廃棄物処理基本計画に基づき、地震によって発生した大量の災害ごみの処理を担うこととし、市内7か所の仮置き場で災害ごみを受け入れるなど、市民の生活再建への支援を行っています。</p> <p>さて、本市では環境行政のマスタープランとなる鶴岡市環境基本計画に基づき、地域環境から地球温暖化対策に至るまでの環境保全等に関する施策を、市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもと、連携して取り組んでいるところであり、特に、本市の豊かな自然環境や生活環境について、その環境を良好な状態で将来の世代に引き継いでいくことが重要な責務と考えております。</p>

	<p>審議員の皆様には、本市の環境の保全に関する事項について、調査審議をお願いしておりますが、本日の議題、特に今後の課題といたしまして、次期計画の策定に向けたスケジュールについてご審議を頂きたいと考えています。</p>
【会議成立報告】	
事務局	<p>環境審議会条例第6条第2項により、「審議会は委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことが出来ない」とされています。</p> <p>本日の審議会は委員16名中、13名のご出席ですので、本会議が成立していることを報告します。</p>
【3 会長副会長選任】	
伊藤課長	<p>次に、「3. 会長・副会長の選任」に入ります。</p> <p>今回は、審議員の改選期にあたりますので新たに会長と副会長を選任することとなります。委員の皆様のご意見を求めます。</p>
委員より	事務局一任の声
伊藤課長	事務局から、会長に俵谷圭太郎様、副会長に佐藤司様をを提案します。
委員	異議なし
伊藤課長	俵谷様、会長に、佐藤様、副会長への就任よろしくお願ひします。
【4 議事】	
伊藤課長	<p>これより、「4. 議事」に入ります。</p> <p>審議会条例第6条第1項の規定により、会議の議長を会長にお願いします。</p>
議長	それでは「(1) 平成30年度事業概要」について審議します。
事務局	説明（資料のとおり）
議長	ただ今の説明についてご質問等がございますか。
【質疑応答】	
委員	海のビニール類、プラスチック類のゴミが多いが、市の取組みは。
事務局	毎年、海岸部の地域住民等の協力のもとクリーン作戦どをおこなっています。回収されるごみは様々なものが混ざっていますが、年間約30tのごみを回収しています。

委員	空き家対策事業の、危険空き家解体補助の地域団体の取組みとは何か。
事務局	地域団体支援型とは、自治会、町内会、住民会などの団体が、所有者の経済的、身体的なご事情で解体が難しい空き屋を、地域の方々が協力して解体する際に補助金として市が支援する制度です。補助金の額は上限 75 万円となります。ご相談があると専門の職員が危険度の判定をおこない、より危険度の高いものを優先して予算範囲内で補助する制度です。
委員	相続登記をしていない方も多いと思うが、相続人を特定する手続きは、鶴岡市でも手伝っているのか。
事務局	相続人候補の調査等については、市が支援しています。
委員	危険空き家補助金とはかかった金額の全額が出るのか。
事務局	個人に対しては、解体費の 40%で補助金額の上限が 75 万円です。地域団体は、かかった経費が補助対象で上限が 75 万円です。 40 坪程度の家を解体すると場所にもよりますが、2~300 万円かかります。特に、地域団体型の場合は対象は全額でも上限があることに注意が必要です。
委員	車庫が壊れた場合も対象になるのか。
事務局	個人型の場合は、住宅のみが対象ですが、地域団体型の場合は含みます。
議長	次に、「(2) 鶴岡市の大気等環境保全状況」について、審議します。
事務局	説明 (資料のとおり)
議長	ただ今の説明についてご質問等がございますか。
委員	自動車交通騒音の調査は、場所を毎回変えているのか。
事務局	1 路線だけ毎年測定していますが、それ以外は路線を変えています。
委員	五十川インターチェンジの周りも調べてもらいたい。
事務局	承知しました。
議長	次に「(3)、令和元年度主要事業」について審議します。

	事務局	説明（資料のとおり）
	議長	ただ今の説明について、ご意見等がございますか。
【質疑応答】	委員	環境保全推進員の活動内容はどのようなものか。
	事務局	各自治組織、自治会、町内会、住民会からご推薦をいただき、地域内の景観や衛生面や、危険な空き家の通報など地域内で気付いた事を報告、通報してもらっています。また、廃棄物減量等推進員を兼務しており、ゴミステーションの管理などもしています。年に1～2回研修を設け推進員の環境に対する知識を高め、周辺の方々にも働きかけをすることもお願いしています。
	委員	生物多様性地域戦略とはどういったものなのか。
	事務局	国家戦略、山形県の戦略を受けて、まずは鶴岡市に守るべきもの、貴重な生物、植物はどのようなものがあるのか調査し、その上で様々な取り組みをする際に配慮すべき事柄、最低限のルール決めをすることが必要です。それから地球温暖化、また、生体系から得られる恵みを人間は受けながら生活しているといったことの大切さを広く普及啓発していきたいと考えています。
	委員	今のようなことを、小学生と一体となって取り組んでいるところがある。このような取り組みが成功するようにしていきたい。
	事務局	ありがとうございます。
	議長	次に「(4) 次期環境基本計画」について、審議します。
	事務局	説明（資料のとおり）
	議長	ただ今の説明について、ご意見等がございますか。
【質疑応答】		なし
	議長	次に「(5) その他」について皆様から何かございますか。
【質疑応答】		

委員	2月24日にニューモ（原子力発電環境支援機構）の主催で説明会がマリカ3階大ホールでありました。どういうことなのか分かれば教えてください。
事務局	この説明会を主催しているのは、経済産業省の資源エネルギー庁であり、趣旨は高レベル放射性廃棄物の地層処分の説明でした。 全国で順次開催しており県庁所在地である山形市で開催し、人口や交通の便から山形市に次ぐ規模の鶴岡市を会場としたということです。 参加者は鶴岡市民、酒田市民で、声としては核のゴミがさらに増えるのではないかと懸念する意見をだされたと聞いております。 市としては、処分場受入れは市民の理解を得られないと考えており、説明会の内容や開催告知について市民の誤解や不安が生じないように申入れています。 山形県知事のコメントでは、今も東日本大震災の避難者を受入れている事、原発事故に伴う被風評被害が完全に払拭されていない事から、高レベル放射性廃棄物の地層処分は受入れできないとしています。
議長	事務局からは何かありますか？
事務局	ありません。
議長	これで、「4. 議事」を終了いたします。
伊藤課長	続きまして、「5. その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。それでは、事務局より2点、お手元の資料によりご報告をさせていただきます。
事務局	説明（資料のとおり）
伊藤課長	ただ今の説明について、ご意見等がございましたらご発言願います。
委員	三瀬の八森山の上の方にクマタカの出現頻度が高いところがあるので1号機をもう少し下の方にずらしてもらいたいのですが、当初より5基に減らされたということは配慮されたと思います。ところで、天狗森の話がありましたが鶴岡市へはどんな連絡が入っているかどうか確認します。
事務局	天狗森に関しては、昨年一部工事、道路整備に着手したというお話でしたが、一旦中止されているという事を聞いております。 今後については確認中です。
伊藤課長	これをもちまして「令和元年度第1回鶴岡市環境審議会」を終了します。